

知的障害教育部門 高等部 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和6年2月9日(金) 第4校時 13:30~14:20

1 単元名「お世話になった方を招待して、春のお茶会をしよう」

2 単元設定の理由

(4) 学校課題研究との関わり

本校研究主題は「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実～個別最適な学びにおけるICTの具体的活用～」である。本校知的障害教育部門は高等部のみ設置されており、市内中学校及び特別支援学校中学部から様々な経歴の生徒が集まっている。そこで、茶道を通して目の前にある具体的な課題を一つずつ解決していく中で達成感を味わい自己肯定感を高めることで、社会的自立に向けた精神的な成長を期待して単元を設定した。

副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりとして、生徒は過去の学習経験を想起できれば、次の活動に生かすことができる。そこで、既習事項を写真や動画を使って振り返り主体的に学習に取り組めるようにしていきたい。また、年間を通してインターネットでの調べ学習や、ワードやエクセルを使った学習の振り返りを行ってきた。そこで、生徒一人ひとりがICTを自分に合った方法で利用することによって学習に対する意欲を高め、達成感や自己肯定感の向上につなげたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の指導目標

- お茶会の企画・運営の過程において、自己の役割を果たすことができる。(知識及び技能)
- 学習経験や得意なことを生かして、お茶会をよりよいものにするために工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- お茶会の仕事内容や準備の進捗状況を認識し、主体的に活動に取り組むことができる。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画(本時 18/35時間) ※各次は並行して行う部分もあるため、昇順とは限らない。

次	時数	主な学習内容	取り扱う教科等及び内容
1	2時間	お茶会を企画しよう。 ○お茶会の目的を話し合おう。 ・1年間でどのような方々にお世話になったか考えよう。 ・お茶会に必要な準備を考えよう。 ・お茶会本番の役割分担をしよう。	○高等学校特別活動 ホームルーム (1) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

2	1 2 時間	<p>茶道を深めよう。</p> <p>○茶道に関する和歌を味わおう。(6時間)</p> <p>○茶道に関する書をしたためよう。(2時間)</p> <p>○能楽について知ろう。(2時間)</p> <p>○呈茶会に飾る季節の花を知ろう。(2時間)</p>	<p>○中学部国語 2 段階ウ (ア) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。</p> <p>○中学部美術 1 段階A 表現ア (イ) 材料や用具に扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。</p> <p>○中学部音楽 1 段階B 鑑賞ア (ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聞くこと。</p> <p>○中学部理科 2 段階A 生命イ (ア) ㊦ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。</p>
3	4 時間	<p>おいしいお茶とお菓子を準備しよう。</p> <p>○おいしい抹茶になるお湯の温度と抹茶の量を計ろう。</p> <p>○抹茶に合うお菓子を選んで準備しよう。</p>	<p>○中学部 1 段階数学 D データの活用ア (イ) ㊦ 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単なグラフや表を用いながら読み取ったり、考察したりすること。</p> <p>○中学部 1 段階職業・家庭 C 消費生活・環境ア (ア) 生活に必要なものの選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする事。</p>

4	1 2時間	お茶会の準備をしよう（1） ①準備の役割分担をしよう。 ②準備を進めよう。【本時】 ・招待状を作成しよう。 ・電話でお茶会に招待することを伝えよう。 ・箏を演奏しよう。 ・壁画を制作しよう。 ③準備を進めよう。 ・発表原稿を作成して練習しよう。 ・お礼のお土産を作ろう。 (8時間)	○高等学校特別活動 ホームルーム（1） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 ○特別の教科道徳 B主として人とのかかわりに関すること（思いやり、感謝、礼儀） ○高等部1段階職業イ（ア）の 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。 ○高等部1段階情報Bイ（イ） コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。
		お茶会の準備をしよう（2） ○お客様に対する礼儀作法を学ぼう。 (2時間)	
		お茶会の準備をしよう（3） ○抹茶の飲み方や作法のカードを作成しよう。(2時間)	
5	8時間	○お茶会の練習をしよう。 ・自分の役割を意識してお茶会の練習に取り組もう。	○高等学校特別活動 ホームルーム（1） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 ○特別の教科道徳 B主として人とのかかわりに関すること（思いやり、感謝、礼儀） ※交流及び共同学習 地域の人々などと活動を共にする機会を積極的に設けること。
6	2時間	○会場設営をしよう。	
7	1時間	○お茶会を開こう。	
8	1時間	○学習を振り返ろう	

5 本時の学習

(1) 本時の共通目標

- 仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちをもってお茶会の準備に取り組むことができる。(思考力、判断力、表現力等)

(3) 本時の展開

時間	学習活動	○個別の支援（手立て） ・指導上の留意点 ◇評価の観点 (T1～T3) …T1～T3の動き				
導入 8分	1 あいさつをする	・日直は授業の始まりを意識して号令をかける。				
	2 単元の内容を確認する	・単元全体の流れと目的を表で示し、本時の位置付けを明確にするとともに、お茶会での役割分担を再度確認し、お茶会への意欲を引き出す。				
	3 本時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方と目標「お世話になった方に感謝の気持ちを持ち、協力して呈茶会の準備をしよう」を確認する。 ・本時の活動内容の全体像を大まかに確認するとともに、活動の動機付けを行い、来場者に喜んでもらえるお茶会にするための準備をするように伝える。 ・前回に引き続き、本時はどのような内容に取り組むことになるのか確認していく。必要に応じて、グループをこえて確認しあったり相談したりするように伝える。 ・招待状グループ：プリントアウトされた招待状を見ながら前回までの進捗状況を確認する。 ・電話連絡グループ：前回までに参加の確認ができた方を伝える。本時に電話をする方を確認する。 ・壁画グループ：前回までの進捗状況を、制作物を見ながら確認する。 				
展開① 35分	4 活動場所に移動し、グループごとに活動する	招待状グループ A・E (T3)		電話連絡グループ B・C (T2)	壁画グループ D・F・G (T1)	
		A	E	B	C	(1)今日の課題を教員と確認する。 ・教員と一緒にそれぞれの課題を確認し、何をするのか理解したうえで活動に取り組む。 ・来場者に感謝の気持ちをもって、喜んでもらえるように意識しながら制作に取り組む。
		<p>(1)あいさつ文を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡グループから参加者リストを受け取る。 ・出席していただく方にお世話になった場面を思い出しながら、関係性に応じた簡単なあいさつ文を作成する。 <p>○1文程度の簡潔な文になるように声掛けをする。国語で学習した</p> <p>○5W1H作成表を参考にしながら、文章について指導する。</p> <p>◇来場者へ感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p>(1)Aが作成したあいさつ文をパソコンの決められた枠に正しく入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの場面でお世話になったのかを思い出しながら相手の名前やあいさつ文を入力する。 <p>○人名を正確に打ち込めているか確認する。</p> <p>○どの場面でお世話になったか、考えることができるように声掛けをする。</p> <p>○漢字や句読点が適切か確認して指導する。</p> <p>◇来場者に感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p>(1)本時の活動内容を教員と確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日連絡する相手と順番を確認する。 ・相手に応じたマニュアルを確認しあう。 ・電話の礼儀やマナーと注意事項を確認する。 ・必要に応じて練習する。 	<p>(2)Bの電話を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①名前と電話番号（名簿を参照）、②電話のかけ方の順序が正しいか確認する。 	<p>D・F</p> <p>(2)千切り絵アートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のりの扱い方に注意して紙を貼る。 ○良い例、悪い例のモデルを提示する。 ○手を拭くタオル等を準備する。 <p>◇来場者のことを意識して丁寧に制作に取り組むことができたか。</p>
<p>○1文程度の簡潔な文になるように声掛けをする。国語で学習した</p> <p>○5W1H作成表を参考にしながら、文章について指導する。</p> <p>◇来場者へ感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p>○人名を正確に打ち込めているか確認する。</p> <p>○どの場面でお世話になったか、考えることができるように声掛けをする。</p> <p>○漢字や句読点が適切か確認して指導する。</p> <p>◇来場者に感謝の気持ちが伝わるように招待状を作ることができたか。</p>	<p>(2)電話をかける（1人目）</p> <p>○相手の名前と電話番号を声に出して確認した後、手順に従って電話をかける。</p>	<p>(2)Bの電話を確認する</p> <p>・①名前と電話番号（名簿を参照）、②電話のかけ方の順序が正しいか確認する。</p>	<p>(1)今日の課題を教員と確認する。 ・教員と一緒にそれぞれの課題を確認し、何をするのか理解したうえで活動に取り組む。 ・来場者に感謝の気持ちをもって、喜んでもらえるように意識しながら制作に取り組む。</p>		
<p>(2)進捗状況の発表の準備をする</p> <p>○できているところまでの内容を簡潔にまとめ、発表できるように支援する。</p> <p>(3)発表に必要なもの以外を片付ける。</p>	<p>(4)進捗状況の発表ができるようにする</p> <p>○誰にどのような話をしたか、相手と約束ができたか等について簡潔に内容を発表できるように支援する。</p> <p>(5)発表に必要なもの以外を片付ける</p>	<p>(3)電話の内容を記録する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを見て互いに確認し合いパソコンに情報を入力する。 <p>◇活動内容を把握し、自分の役割を果たそうとしていたか。</p>	<p>(5)進捗状況の発表ができるようにする。</p> <p>○用いた技法等について簡潔に内容を発表できるように支援する。</p> <p>(6)発表に必要なもの以外を片付ける</p>			
展開② 5分	5 本時の進捗状況を発表し、振り返りを行う。	招待状グループ：本日完成した招待状の枚数を発表する。電話連絡グループ：電話の相手と参加状況を発表する。壁画グループ：具体物を見せる。				
まとめ 2分	6 次時の予告をする	・単元の目的を再度確認し、次回への意識付けを行う。				
	7 あいさつをする	・日直が授業の終わりを意識して号令をかける。				

6 本時の評価

(1) 本時の共通目標に係る評価の観点

- 仕事内容や進捗状況を認識し、お世話になった方に感謝の気持ちをもってそれぞれのグループでお茶会の準備に取り組むことができたか。(思考・判断・表現)